

第33回信越・北陸地区大会平成

13年4月20日・21日

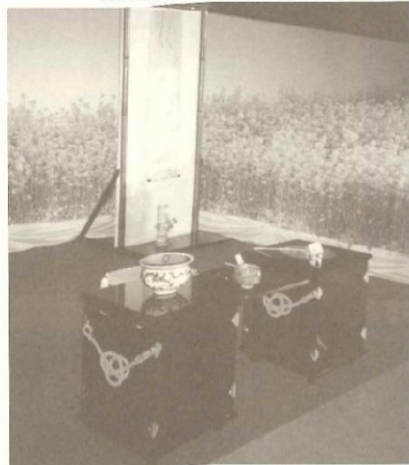
若草もえる季節、第33回信越・北陸地区大会が、善光寺さんのお蔭元長野市にて開催されました。私達、長野県支部青年部は、学茶の皆さんと共に、一面菜の花に囲まれた席を作り皆様をお迎え致しました。席を作るにあたり、菜の花を運び並べるのに大変苦労をしましたが、信州の自然を表した席が出来たと思います。

又、今大会には、北陸・信越ブロックから大勢の青年部の皆さんに参加していただき、有難うございました。青年部の懇親会では、長野県6青年部の会員皆で、皆さんにお迎えするにあたり、楽しい会をと思いましたが、いかがだったでしょうか。

特に、会の終わりをどうしようかと考えましたが、ローソクに若宗匠より火を灯していただき、その火を来期開催される加賀・九谷青年部へ引き継ぐことにしました。

今大会を終え、私達6青年部の団結も、いっそう深いものになったと思います。引き継いだ火のもとに、来年大勢の会員の皆さんが集うことを願っています。

～くればむ信濃の里の菜の園に香り広がる緑の心～
長野県支部青年部連絡会代表 小出浩登

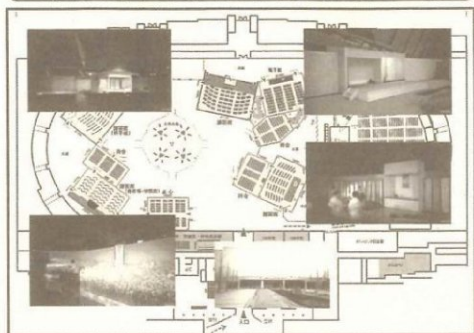


☆ 編集後記 ☆

2001年の最初の広報紙をやっと出すことができました。また、ブロックのホームページもただいま準備中です。開設しましたらアドレスを各青年部メール担当者に連絡致します。どうぞお楽しみに！

春茶のエキシブ

茶室特別版



平成14年度行事予定

総本部親支部	ブロック
1月	
2月 2・3 L.T 開講式	
3月 22～24 青年講習会	
4月 26・27 地区大会(石川南)	
5月 17～19 ジュニア養成	フォーラムin長野県
6月	フォーラムin高岡
7月 13・14 総本部主催 全国ブロックフォーラムin東京	19・20 フォーラムin佐渡 20・21 会員大会(佐渡) 31 フォーラムin福井
9月	1 フォーラムin福井 中甸アメリカミッショ 28・29 フォーラムin石川
10月	フォーラムin魚津 新田ブロック協議会
11月	
12月	

北陸信越ブロック ちゃべたけ通信 ■2001年 秋季号



発行 (社) 茶道裏千家淡交会青年部 北陸信越ブロック事務局

Tea Field

第34回北陸信越ブロック会員大会を終えて

北陸信越ブロック
ブロック長(全国委員) 大樋年雄

人々の生活環境がさまざまに変化しながら共生していく時代を迎えています。裏千家茶道は我々が失いつつある日本人の精神性や記憶を再認識させるものなのかもしれません。第34回会員大会は加賀藩二代藩主前田利長公の菩提寺である国宝「瑞龍寺」の茶会、散居村という独特の風景を眺望するホテルにて式典、そして講演会では瑞龍寺住職 四津谷道昭氏の講話を賜りました。また、懇親会、二次会ともに楽しく和んだ雰囲気、会員相互の交流を深めることができました。翌日、ワークショップでの制作では地元の伝統工芸にも触れていただきました。そして何より総本部村上部長様の明日の青年部のための御講演は参加会員全員が胸が熱くなったに違いありません。雲ひとつない秋晴れに、遠く立山連峰を眺めながらの自然は我々に新たな記憶が加えられたと思います。

一年前より準備をいただいた高岡支部青年部連絡会のスタッフ、地元青年部会員の皆様、ご指導下さいました高岡支部の親先生、青年部OBの方々に深く敬意と感謝を申し上げます。

大会実行委員長 島田 義光
(副ブロック長)

会員大会は、砺波市今井助役様、高岡市細呂木教育長様、総本部村上青年部長様をはじめとし、ブロック内の各支部長様、役員の方およびたくさんの方の会員の参加をいただき、茶会～開会式～講演会～懇親会～二次会～ワークショップ～閉会式の大会日程を皆様の協力を得て無事、終えることができました。

茶会では、10月の澄み渡った青空のもと、高岡の国宝瑞龍寺の青青とした芝と光輝く釘瓦が目に見えるなかでの、濃茶席と薄茶席での一服に参加者全員が満喫していただいたのではないのでしょうか。講演会では、四津谷住職の軽妙な話しぶりとスライドによる瑞龍寺の隅々までの説明にいっそう歴史ロマンが膨らみました。また懇親会では、会員大会で初めてのコース料理に舌鼓を打ち、ワークショップでは、伝統工芸・特産物に触れていただきました。

高岡支部3青年部の1年間の下準備が実を結び、見事に花を咲かせることができました。感謝と感動の会員大会を本当にありがとうございました。

主管 高岡支部青年部連絡会代表
となみ野青年部部長 和田 猛

非常に多くの会員の皆様にご参加をいただき、ありがとうございました。主管として、「その皆様の気持ちに何とか応えたい。この大会に行って良かったと思っていただきたい。」唯々、この一心で私たち高岡支部のみならず野・志貴野・となみ野の三青年部が、微力ながらも互いに力を合わせました。無事に終了できましたことは、親支部の先生方、OBの先輩方は勿論、周囲の多くの方々に支えられてのことと、本当にありがたく感謝しております。また、初日は雲ひとつない晴天にも恵まれ、目には見えない大きな力にも助けられた思いです。参加各員の皆様の表情が、私たち主管側の一人ひとりの苦勞を、大きな喜びに変えてくださいました。高岡支部青年部一同を代表し、御礼申し上げます。

第34回 北陸信越ブロック会員大会
「茶禅一味! 国宝瑞龍寺」
— 散居の里に集い、21世紀にはばたこう! —
 日時 平成13年10月20日(土)・21日(日)
 会場 瑞龍寺・砺波ロイヤルホテル

大会日程

10月20日(土)	【瑞龍寺】
8:30~14:00	濃茶席(高岡支部青年部OB) : 大茶室 薄茶席(高岡支部青年部連絡会) : 大庫裏
12:00~13:30	ブロック役員会: 瑞雲閣
12:00~16:00	登録・受付: 1Fエントランスホール
16:30~17:30	開会式: 2F立山
17:30~19:00	講演会: 2F立山 講師 瑞龍寺住職 四津谷 道昭 老師 演題 「国宝瑞龍寺—法城を守って—」
19:00~21:20	懇親会: 2F黒部
21:30~23:00	二次会: 3F万葉
10月21日(日)	【砺波ロイヤルホテル】
6:30~8:30	朝食: 2Fヴェルジュール他
8:50~10:10	ワークショップ [5コース] 凧(講師 大江 真琴 氏): 2F黒部 鋳物(藤田 勝久 氏): 2F平 木彫(我妻 悦男 先生): 2F黒部 螺細(武蔵川義則 先生): 2F井波 押花(久保田洋子 先生): 2F薬師
10:30~11:15	講話: 2F立山 講師 総本部青年部々長 村上 利行 テーマ 「会員増強とリーダー育成」
11:45~11:30	閉会式: 2F立山
12:00~14:00	ブロック協議会: 2F太閤



となみ野青年部 中島 智恵子

青空で皆様を迎えることができた瑞龍寺がいつもより雄大に見えました。主管側とは大変でしたが、みんなで知恵を出し合い、楽しくもあり、苦しい時間が過ぎ当日となりました。これからも青年部同志の和を大切に、21世紀にはばたけたらいいなあと感じました。皆様ありがとうございます。

志貴野青年部 石井 雅美

ブロック大会参加3回目にしておもてなしする立場になりましたが、高岡支部の青年部の方々と交流が持てたこと、薄茶席・ワークショップでお手伝いさせていただいたこと、勉強になったと嬉しく思っております。ありがとうございます。

南信青年部 加藤 かおり

国宝の瑞龍寺にしつらえられた秋を感じさせる茶会に、これだけの会場を使わせてもらえることを羨ましく思いました。

突然のアクシデントにより、30人が大遅刻。大変なご迷惑をおかけしましたが、担当支部の皆様迅速な対応で、このすばらしい席に入ることができました。ありがとうございました。

白山青年部 東 亜紗美

国宝の瑞龍寺でお茶をいただくことができ、大変貴重な体験ができたと思います。また、四津谷老師の講演を聞き、改めて瑞龍寺のすごさが分かりました。コース料理もとてもおいしく、「岩海苔ロール」が印象的でした。



中越青年部 矢澤 奈央子

私はこの会員大会に参加して、「お客様をもてなす」という初心にかえることができました。高岡支部のみなさんが一致団結して、私たちに美味しいお茶を点てて下さったり、心のこもった夕食会、大会の記念となった木彫りなど、あげたらきりがなく感謝の気持ちでいっぱいです。この心を日頃でも忘れず、人と付き合っていくたいです。



金沢南青年部 滝井 美奈子

十数年振りの凧作りで懐かしい思いをさせていただきました。でもそれより心に響いたのは大江さんのお話でした。「凧揚げは平和な国でしかできないものなのですよ。」と。家に帰ると案の定、アフガニスタン空爆のニュースが流れていました。大江さんの言葉にあった当たり前になっている平和の大切さをちょっと立ち止まって感じられたように思います。そんな時間をもてたことがよかったです。

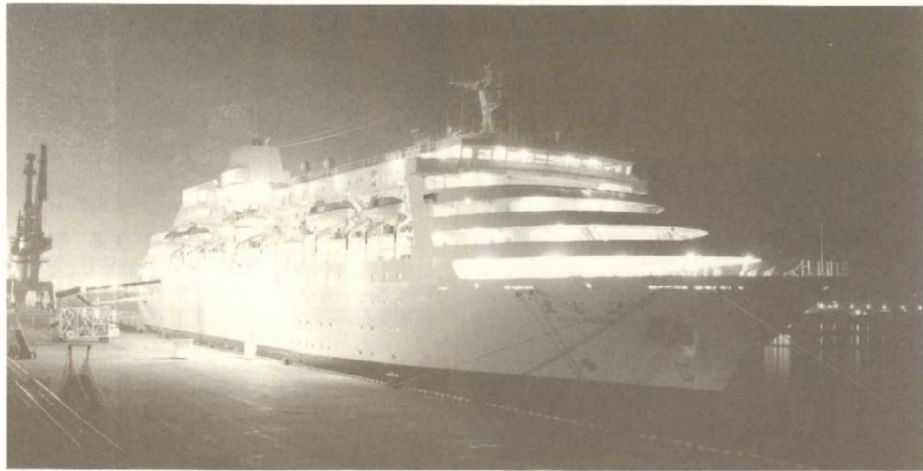


とき青年部 大川 秀子

お茶会やお稽古で欠かせない風炉、釜、それらは鋳物であることは知っていたけれど、一口に鋳物と言っても、蛸型、焼型、惣型があり、永い歴史の中で受け継がれてきたことや技術の進歩、いろいろな技法があることを初めて知りました。それらの作品は今、私たちを感動させ楽しませてくれます。講師は「自分の作品には思い入れも大切だけれども、自己満足にならないように注意しなければならぬ」と結ばれ、自分の仕事に対する誇りが感じられました。今度、工房見学があればと思いました。



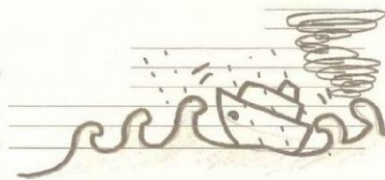
（社）茶道裏千家淡交会 訪中100回記念
第9回 裏千家青年の船 H13年6月23日～7月3日



長野県支部北信青年部 中村 八重子

＝青年の船 乗らんとすれば余興の用意＝

利休居士が言外に「どんな時にも落ち着いて臨機応変の処置が出来る心の準備と実際の用意を常に怠らぬ事が茶人の心がけである」と説いておられる七則の一つ「降らずとも雨用意」が、今鮮明に浮かび上がると同時に実践の場となったフレンドシップにて開催されるブロック対抗スタンプ！集まるのが容易なブロックは練習を重ねて乗船した様子。我々ブロック仲間が一堂に会したのは、たった数時間前。北陸信越ブロック今こそ才能と度胸の見せどころ。制限時間は三分。ウルトラマンの変身時間である。家族には「本当に茶道の船に乗るのか」と疑われる荷物。中身は絵の具、お面、キーボード、ハンドベル等々！一人一人がその気になった。一気にブロック仲間意識は高まり燃え上がった。「同門は皆兄弟」「一碗がもたらす縁」「心の絆」は三分で結びとなった。いつ何時たりとも、積極性と協調性が青年部に必要と学ぶ。「青年船七則その一」の誕生の一コマ。



石川支部金沢青年部 下出 直司

今回の船では人民大会堂での裏千家友好茶会に参加できたことを光栄に思い、また同時にお家元様、若宗匠ご夫婦始めご宗家の皆様へ深く感謝しております。とりわけ青年の船に乗って得られた一番大きなものは絆でした。船の中ではブロックを最小単位として行動しました。乗船当日の夜には早速各ブロックが自己紹介をするフレンドシップという催しが開催され、船に持ち込み限られた衣装や道具に皆が知恵や特技を出し合い楽しい発表となりました。その他、朝夕のつどい、東海ブロックとの合同茶会、船のデッキでの運動会、大学を訪問して茶道を伝える茶道分団活動、最終日のフェアウエルパーティーなどの行事が終わるごとに私たちの絆が強くなっていくように感じました。

こうして苦勞を共に同じ釜の飯を食った私達はことばにある「同門は兄弟で…」のとおりすばらしい兄弟姉妹になった様に思います。帰って来てからも乗船して出会えた縁を大切に交流を重ねています。この和がブロック全体に幾重にも広がり青年部活動が一層発展していくようお手伝いできたらと思っています。

福井支部 越青年部 二上 聡子

私達は遼寧師範大学へ分団活動へと向かいました。小雨の降るあいにくの天気にもかかわらず、玄関には手作りの歓迎の看板、花を持った学生さんの熱烈な歓迎に、心が温くなるのを感じました。式典の後、お点前のデモンストレーションを行い、その後体験コーナーを設置しましたが、どんだん人が集まり、120人を超えるほどの大盛況ぶりでした。

体験コーナーにきてくれた学生さんたちは、一生懸命英語や日本語で「この緑のお茶は何から出来ているのか？」「どうして茶筌であわをたてるのか？」など、質問してくれました。苦い！と言いつつも、大事そうにお茶碗を持って少しずつお茶を飲む姿や、慣れないながらも一生懸命茶筌を振る姿に、思わず笑みがこぼれました。最後には連絡先を交換する団員と学生さんたちの姿も見られました。実際に一対一で炊く生産と触れ合えた、貴重なそして楽しい一時でした。

＊「イカニモアヤシイ」福井



遼寧師範大学にて

石川支部 金沢城北青年部 荒川 慶子

研修5日目の6月27日午後、人民大会堂において記念式典に臨んだ後、スケートリンク程の広さもあるかと思われる隣接の大ホールにて友人大茶会が行われました。中国国内の同好会・大学と青年船団員による8席もの本格的な茶席が設けられ、短時間でしたが、多くの中国人の方々をお迎えしました。友好的な雰囲気の中にも同じ茶葉を喫飲する文化でありながら異なった喫茶法への多少のとまどいもみられ興味深く思いました。

又、10日目の早朝、船尾のデッキにて偶然トレーニング中の伊住宗匠様へ、石川の青年部OBの方々の縁の茶碗等で一服差し上げ、親しくお話をさせていただきました。即席の茶席・点前でしたが、「青年の船の経験の中でも初めてのこと」と喜んで(?)いただけましたことが印象深く残っております。

■ ビックイベント！

昼12:00 日曜日神戸港に着堤！お茶の人の心を見にアッパレ
 最上時... スゴイ フォォーリング茶筌！なんと毎日フ
 けていた。この航海日記を伊住宗匠様に見てもらったので、
 名前を「ヨシリアス」
 宗匠様は「アッパレ」
 テレ、この茶筌までと
 て毎日サイコー！
 毎日、お茶の「ガッパ
 レ」はアッパレお茶の
 も宗匠に「アッパレ」
 「カッパレ」ありましたよ！
 アッパレの顔で伊住宗匠様は「アッパレ」

■ 最後の別れ

下船後 船団では、
 石川支部、金沢支部、
 北陸支部、東海支部、
 北信支部、今年度、
 サヨナラを告げ、
 全船で大団圓、解散！

船団後ブロック長
 中村八重子様、宗匠様
 が「アッパレ」の
 まじり茶碗、宗匠
 様が「アッパレ」

＊北陸信越ブロックの総会イベント

長野県支部 諏訪青年部 川島泰啓 日記より



人民大会堂にて

北陸信越ブロックフォーラム

北陸信越ブロックでは、会員減少、リーダー育成という問題にどのように対応していくか約半年間スタッフ29青年部長と討議し、2年をかけてエリア内10支部を訪問させていただくこととなりました。

フォーラムの内容

◆支部役員先生方との懇談会

- 出席者 親支部役員先生（支部長、幹事長、副幹事長、青年部担当役員）
ブロックスタッフ（ブロック長、直前ブロック長、副ブロック長、幹事長、監事）
- ※親支部と青年部の状況を聞き、問題点を討議。
- ※青年部組織、ブロックの役割説明。
- ※新青年部移行後（10年間）の会員数の変動表を見ていただき、青年部会員数の現状を説明。
- ※登録会員制度の説明と、ブロックで提案している社中代表制の説明。
- ※青年部との定期的な懇談会開催依頼。

◆茶会（一般先生方への青年部会員増強依頼の茶会）

- ※ブロック長、直前ブロック長による席中での青年部正会員募集のお願い。
- ※青年部組織の説明。
- ※昨年での全国大会の茶席を再現（道具組み）
ブロック活動の理解

◆リーダー育成研修

フォーラム特別チームの結成（ブロックL.T）

各青年部よりこれからの青年部を担う方を部長より推薦いただき、青年部の基本理念、青年部組織の理解、茶会での研修を通じてブロック内青年部の情報交換を目的とする。

◆開催基本スケジュール

- 1日目 13:00～15:00 特別チーム、四役研修。
茶席下見打ち合わせ。
15:00～17:00 懇談会
18:00～20:00 懇親会
- 2日目 9:00～14:00 茶会
(各支部の事情によって、内容を変更)



石川南・小松仙叟屋敷玄庵にて



中越支部9月22・23日 於/長岡グランドホテル

ブロックフォーラムin石川南

6月9日・10日

石川南支部加賀青年部 行松宏展

特別チームに入ってくれないか？と言われ、特別チームの全体会議に出席しました。会う人、会う人が初めての方ばかりでもとても緊張しましたが、いざグループミーティングになると、お互いに各青年部や自分個人の悩みを話したり、相談したりで一気に打ち解けてしまいました。会議が終わった後もみんな名残惜しくて、遅くまで私の家で話し込み、最後には特別チームメンバーで「キラキラ会」なるものを結成した次第です。

お茶を通じて初めて知り合った人間が、一日でこんなにも仲良くなってしまふなんて「お茶の力は偉大だ。」と感激いたしました。これからこの特別チームの一員として、いろいろな活動を通じてより良識ある近代人として成長し、各青年部間で友情の輪を広げていきたいと思っています。

最後にこのような機会を与えて下さった親先生方、青年部ブロック役員の方に感謝いたします。

平成十二年九月十日 担当/北陸信越ブロック
第十二回全国大会 於/大徳寺徳禅寺

平成十二年九月十日	担当/北陸信越ブロック
第十二回全国大会	於/大徳寺徳禅寺
待合床	橋宗義老師筆短冊 流水無間斷
本席床	鵬雲齋お家元筆一行 関 南北東西活路
香合	唐物四方蓋地入 円能斎箱
花	季のもの
花入	内梨子地 竹花入
風炉先	淡々斎好 桐透 淡々斎在判
釜	仙叟好 四方渦地紋 鵬雲齋お家元在判箱
風炉	黒雲龍
長板	木地
水指	仙叟好 南蛮写舟形 鵬雲齋お家元箱
茶杓	鵬雲齋お家元作 銘 古今の友
薄器	仙叟好 河太郎棗
茶碗	白釉 鵬雲齋お家元箱
替	加賀唐津 銘 羽衣 橋宗義老師箱
蓋置	竹 淡々斎在判
建水	モール菊割
茶	鵬雲齋お家元好 嘉木の白
菓子	華香
干菓子器	溜布目流水時絵
菓盆	鵬雲齋お家元好 香狹間透埋木盆
火入	高子竹林
	二代永壽造
	博山造
	吉はし製
	林屋詰
	浄益造
	年雄造
	長左衛門造
	寒雄造
	宗元造
	松逸造



ブロックフォーラムin新潟

(八月二十五日・二十六日) 於/ホテル新潟

上越青年部 吉村 潔

ブロックの特別チームに選ばれて、日程が決まりどんなメンバーと会えるかわくわくしながら、新潟に来ました。朝準備が始まるとドキドキしてきました。徐々に緊張もほぐれ、和やかな雰囲気になってきました。お茶会が始まると当日の朝方まで打合せをしていた疲れを知らないブロック役員の方々や、青年の船に乗られた方々、部長さん達の「もの凄いパワー」に後押しされ、心地のよい緊張感の中でいられました。面白かったのは、皆さん素晴らしいキャラクターの持ち主で「ええ〜」と言って感心する事が多かった。灰型が素晴らしいといい、灰を直す時に風炉の周りに集まって見たりしたことです。皆さんのあの「もの凄いパワー《情熱》」を貰い、私もパワーアップしてみんなに伝えられるようにしたいと思います。

